

アニマルウェルフェアなんてやってられない！？ (1)

岩手大学名誉教授 岡田啓司

【アニマルウェルフェアなんてやってられない！】

アニマルウェルフェア！？ このようなご時世に、なにを能天気なことを言っているのか！そんなことを考える余裕があったら HACCP 方式のチェックシートへの記入にどう対処するか、いかに飼料代を節約した飼料設計をするか、悪化している繁殖成績をどう改善するか、借金をどうしたら減らせるか……。目の前には問題が山積していて、農家は毎日アップアップ。獣医師だって団塊の世代の退職が進行中なのに新卒を募集しても集まらず、慢性的な人手不足。面倒な診療記録をどう簡略化するか、多頭化農場の診療にどう対応するか、特定損害防止事業の代謝プロファイルテスト (MPT) をやっても飼料設計はできないし……。現代日本の畜産現場においてアニマルウェルフェアはよその世界の話でしかない。

実際、畜産を取り巻く情勢は相変わらず非常に厳しい。アメリカのサブプライム問題に端を発した世界的な不景気によって、貿易自由化の流れは一息ついたように見える。しかし日本はコンピューター産業や自動車産業の輸出により経済が支えられているため、その引き換えとならざるをえない農産物・畜産物の貿易自由化は、いずれは避けられない。やはりアニマルウェルフェアにまで配慮する余裕は現場にはない。

臨床獣医 2009 年 10 月号掲載原稿を一部改編